

第1回 歴史文化保存展示施設専門検討委員会
意見要旨《発言順》

No.	内容	
1	意見	歴史文化保存展示施設が開館した後の人の配置等の体制はどう考えているのか？
	回答	館長は浜田市世界こども美術館創作活動館館長と兼任、学芸員1名、事務員1名、嘱託職員1名を考えているが、本検討委員会で検討を加えていただきたい。
2	意見	従来からの博物館展示の問題点(歴史資料は展示しているだけでは興味を引かない)を踏まえると、今後は映像などに力を入れる必要がある。また、HPも充実させ、博物館に近隣施設の情報の発信源としての役割も持たせることも大切である。
3	意見	近年グローバルヒストリーという歴史の考え方がある。人の営みが歴史のスタートではなく、地球的規模で歴史を捉えることである。このような世界的な視野で考えた上で、誇れるようなコンセプトを掲げた博物館を目指したい。
4	意見	小学校で「ふるさとの50人」を用いた授業をしている。それらのふるさと郷育に役立つ施設にしたい。
5	意見	来浜をしたときに、肌感覚で浜田の実情を知るために、子育て世代の方に会ったり、小学校や幼保園を回ったりするような機会を作っていただきたい。
6	意見	建築費用のm²単価を計算すると(建物建設費用4億5千万円/平屋600m²=75万円/m²)、バブル期の博物館建設費用と同程度である。 空調や消防設備なども考えて、効率的に設計をすると、同じ予算でもよりよい施設になる可能性がある。一般的には建築費用のm ² 単価は40~60万円程度。
	回答	今後、コンサル業者決定後、詳しく相談をさせていただきたい。
7	意見	子どもに分かる、大人も楽しめるという展示は難しいと感じている。この点も、今後の議論になればと思う。
8	意見	学習室や子どもが触ることのできる展示も必要と考える。世界こども美術館は展示等に関してもすでにノウハウがあるので、複合化のメリットが推進できるような検討を進めたい。

※ 項番6の意見中、取消し線部分は、第2回専門検討委員会で発言の訂正の申し出があり、了承された。